

九州大学病院きらめきプロジェクトと女性医師・歯科医師支援

福岡歯科大学 成育小児歯科学分野 講師 馬場篤子

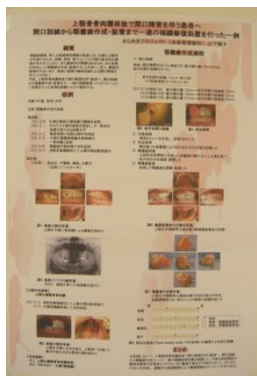
九州大学病院および医学部・歯学部は、文部科学省「大学改革推進事業」の一つである「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」に採択され、平成19年9月より平成22年3月まで女性医療人がさまざまなライフステージでそのキャリアを継続できるように支援する「女性医療人きらめきプロジェクト」を作り活動されてきました。女性歯科医師も対象とされているのは日本全国でもここ九州大学のみです。この取組は高く評価され、現在は「九州大学病院きらめきプロジェクト」(<https://www.kyudai-kirameki.com>)と名前も変わり、育児や介護をかかえた女性の医師・歯科医師だけでなく、広くさまざまな事情で常勤職の継続が困難な医師・歯科医師に支援を広げ、そのキャリアの継続を九州大学病院独自の取り組みとしてサポートされています。

プロジェクトの概要は、女性医療人が出産・育児を担いながらも医療の世界で活躍できる体制や、介護や自身の病気などで常勤医として働くことが困難な医療人も、そのキャリアを継続できる体制を創るための具体策として、以下のような活動を行っておられます。

- 医療人の実態調査
- 登録者にはネットワークを介して女性医療人のライフステージに柔軟に対応した初期研修から復職プログラムまで含む種々の教育研修プログラムをe-ラーニングにより提供し、継続的学習・研修を可能化
- キャリアを持続する為の講演会や、情報交換の場の提供
- ワーキングコースではライフステージに応じた就業や研究を継続できるよう、「ステップアップ外来」を設置し、非常勤医師や歯科医師により各診療科の協力を得てワークシェア、フレックス制で運営し、復職やキャリア継続へのステップアップの実現
復職支援コースでは復帰前の研修や再教育の場を提供し、再就職を支援
- 医学部、歯学部の学生の皆さんにも女性がその能力を十分に発揮できるチャンスを得ることの社会的意義を理解してもらい、学生の皆さんとも交流の場をもつ。さらに、ジェンダー教育、ミッション教育や性差医療などの教育も行う。



平成24年3月31日、第2回スタッフ研究発表会が行われましたので参加しました。ここでは、きらめきスタッフによる一年間の研究の成果や、家事・育児・仕事の両立をどのように行ってきたかなどの報告をポスター形式にして貼りだしてありました。ドクターや看護師、病院事務職員、スポンサーの方など、女性は勿論ですが、多くの男性の方がお越しになっておられたのには驚きました。



平成24年7月11日、きらめきプロジェクト第3回講演会が開催されましたので出席してきました。今回は当プロジェクト初の試みとして、地域の基幹病院の医療関係者の方々も、参加されました。

・講演1では、九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 尾形裕也 教授に、医療提供体制の将来像と医療人材の養成・確保についてお話いただきました。

ご講演後は、活発な質疑応答もなされ、時間が不足するほどでした。

・講演2では、樗木晶子 きらめきプロジェクト副センター長より、九州大学病院きらめきプロジェクトと女性医師支援について話があり、女性医師の歴史から九州大学病院での女性医師の現状、さらにきらめきプロジェクトの取り組みについて詳しく知ることができました。



福岡歯科大学の卒業生も九州大学で研修医として勤務する先生が多くいます。きらめきスタッフにも数名の同窓生がいました。皆さん、このプロジェクトに参加して、育児と仕事を生き生きとやりこなしていました。今後も様々な活動に積極的に参加させて頂き、福岡歯科大学でもこのようなプロジェクトを作っていきたいと思っております。